

岸の二日目に... 燕麥が片づいた... 燕麥が片づいた... 燕麥が片づいた...

内郷村報の 六大使命

- 一、政策推進を超越して、村九充實主義を標榜す。
二、村内公私各機関の活動状況を報導し併せて其協調を計り、總親和總努力の實現を期す。
三、本村社会事業の徹底を期す。

内郷村幸

ルニ天 べ從法 ン順人 ナ則

男の子を持つ 親御達に

大内民恵

記者は十月十日、警城中學校で一時間の講話をしたのであつたが、小僧山校長は、親達にも聞かせた...

- 四、村内の善導進行を表彰し、且之を獎勵す。
五、本村に本村出身者及本村関係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
六、尙餘力を以て、國民善導に當る。

校卒業以上の應募者が、驚く勿論百五十人、其の倍は光景を寫し、入られて報導...

本紙發行は大内一家の事業にして、其の社説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

附記。講演中生徒諸子の眞しむ。失職の憂ひは一生の教育親の扶養は五六年の子供の教育親の扶養は五六年の子供の教育親...

行發日五十月一年一第 印刷所 平活版所

塾なる態度、講堂を退出する時の静肅にして紳士的な行動等は、正に昨年本紙七月號に掲載した「塾中概観」を裏書するものとして、校

長始め職員各位に、厚く御禮を申上ぐると共に、如何に訓練が行き届いて居るか、父兄諸賢に報告いたしておきます。

縣會議員選舉

九月二十五日、飯土井安三、蘆部末造、濱崎善三郎、杉山今朝吉、井出金次郎、志賀留吉、鈴木三良、竹島廉平の八氏立會の下に行はれた、本村縣會議員選舉の結果、各候補者の得票は左の通りであつた。

- 有権者數 四、七二一
- 投票數 三、七四七
- 棄權 九七四
- 草野三郎 八〇八
- 關内正一 四七七
- 小松章 五七一
- 小野晋平 一六一
- 蓮沼龍輔 一、一五五
- 野崎滿藏 三、八三三
- 赤津庄兵衛 三九
- 齋藤晃 一五三

小學校運動會

村内各小學校の運動會は左記の通りに行はれたが、本年は何れも好天氣に恵まれ頗る盛大であつた。

- 尋常高等小學校 (校庭) 九月二十九日、出場人員 磐城炭礦健康保組合では
- 第一小學校 (校庭) 十月五日、出場人員、四二八人、競技種目七七種
- 第二小學校 (校庭) 十月六日、出場人員、一六〇〇人、競技種目、七十種
- 第三小學校 (金坂) 十月十三日、出場人員、一三〇〇人、競技種目、六十種



場道育體險保康健炭磐

被保險者の健康増進の爲、豫算三千圓を以て金坂運動場に建設中であつた、體育道場も、愈々竣工したるを以て、來る十月二十日を期し、落成式を兼ね、近郷より柔劍弓諸道の猛者を招聘して、祝賀武道大會を開催する事になり、目下其準備中である。

神宮大會出場

縣大會に於て名譽ある選手

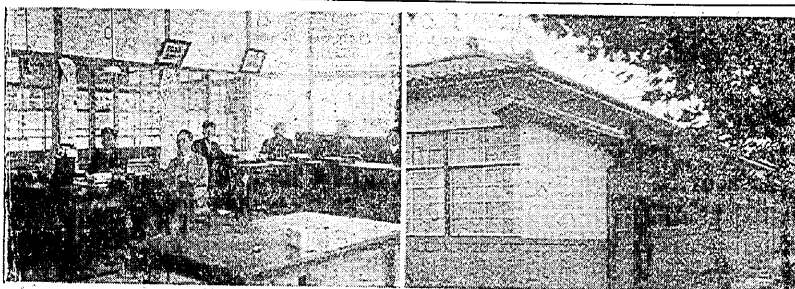
- 鯛 東京 遠藤 二郎
- 山萩のちんばら 咲いて道けはし
- 白石 鈴木 綾園
- くちはの泳ぎ 渡り秋の水
- 山萩のちんばら 咲いて道けはし
- 枝先に花 咲きそめし 眞萩かな

體育道場

磐城炭礦健康保組合では、開

磐城健康保事務所

所以來礦業所内の一室に於て執務中であつたが、建設費五千圓を投じて、礦業所西隣に新築して、九月五日移轉した。因みに北寄りの一室は勞務課に於て之を使用する事となつた。



部内同 所務事險保康健炭磐

第二磐炭

長倉に於ける第二磐城炭礦は、開坑以來豫想以上の業績を挙げ、東斜坑からは月額一千噸を出し、十一月末着炭する豫定の第二坑からは、月額二千三百噸を出す豫定の由である。

衛生映畫と講習

磐城健康保險組合主催の秋季衛生映畫會は、九月二十七日平發電所、同二十八日長倉坑、同三十日金坂運動場の順序に開かれ、何れも盛況であつた。又同組合にては、十月一日より同三十日迄一ヶ月間、内務省國立榮養研究所茂木講師を招聘して、竹ノ内合宿にて、從業者家庭の主婦の爲に、榮養講習會を開催した。

相撲大會

九月二十二日磐城健康保主催で、頌徳館に開催、經坑優賞

- ◎本紙贊助金寄贈芳名
- 金拾圓 白石 鈴木 菊藏
- 金壹圓 鐵山 橋内余之助
- 金壹圓 餘目 渡邊文之助

梨果品評入賞

郡農會主催の梨果品評會に於ける本村の受賞者は左の通りである。

- 一等 早野雅一。二等、

教育制度改革概論

矢野 恒太 大内民惠 著 (四六版二二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

磐炭と團體生命保險

第一種世帯數、三七。人口 二、四一八。第二種世帯數、九。人口、四一八。教育停止

我國教育學界の權威

前京大總長小西重直博士 書を寄せて曰く、多年ノ御禮願ト實地ノ御試練ニ基ク眞學國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思議感激ニ打タレテ後云々

日本評論社

發行所 東京橋本三丁目 取次所 内郷村報社

五日間、若松二十九聯隊に宿泊見學を致しました。以下其大要を報告いたします。以下其大要を報告いたします。以下其大要を報告いたします。

北海道通信 (五) 大内 きみ

折々のお便り有り難く拝見いたし... 折々のお便り有り難く拝見いたし... 折々のお便り有り難く拝見いたし...

開拓記 大内 一郎

拜啓 今日は大根初賣りに出掛け... 拜啓 今日は大根初賣りに出掛け... 拜啓 今日は大根初賣りに出掛け...

これは面白くなつたが、いよいよ... 怪しからぬ、かうなれば、賣る賣... 怪しからぬ、かうなれば、賣る賣...

乳牛三頭を標準として、多... 角形に經營する事によつて... 角形に經營する事によつて...

内郷村報の 六大使命

- 一、政黨派を超越して、村九派主義... 二、村内公私各機關の活動状況を報導し...

- 三、本村社會事業の徹底を期す。... 四、村内の善事興行を表彰し、且之を奨...

本紙發行は大内一家の事業に... 其の社説は子孫に遺する遺... 其の社説は子孫に遺する遺...

行日五十月一... 本紙發行は大内一家の事業に... 本紙發行は大内一家の事業に...

新聞 天法 順人 則

校卒業以上の應募者が、驚... 光景を寫眞まで入れて報導... 光景を寫眞まで入れて報導...

北開道 見上三 年乃至二 十三年間 北海

乳牛三頭を標準として、多... 角形に經營する事によつて... 角形に經營する事によつて...